

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-67	小学校	算数科	算数	第 4 学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	算数 406 算数 407	小学算数 4 上 小学算数 4 下		

1. 編修の基本方針

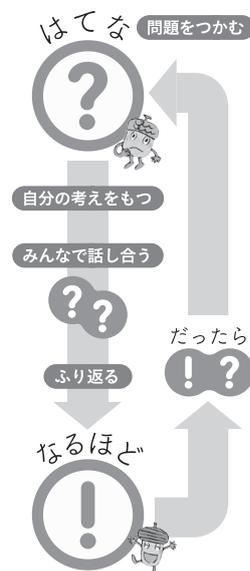
社会が急速に変化し、将来の予測が困難な時代を生きる子どもたちには、主体的に学び、社会と関わり、他者と協力しながら、自ら未来を創り出していく力を育成することが求められます。

生涯にわたってつづく学びの原点となる小学校教育では、自ら考えて「わかった・できた」を実感する喜びや、友だちと一緒に問題を解決する充実感、学びと学びがつながり深まったときの感動を味わわせ、次の学びへと向かっていく力にしていきたいと考えます。

本書は、教育基本法が掲げる教育の目的及び目標の実現に向けて、以下の基本方針のもとに執筆・編修にあたりました。

問いつづけ、よりよいものを求めて 改善しつづける子どもを育てる

- 1** 数学的活動の充実と、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて
子どもの“問い”を軸に学習を進める教科書
- 2** 思考力・判断力・表現力の育成のために
数学的な見方・考え方を働かせて学び合う教科書
- 3** 生きて働く知識・技能の習得のために
学びと学びを系統的につなげる教科書
- 4** 学びに向かう力、人間性等の涵養のために
学び方を身につけ、算数を学ぶよさを実感する教科書



1

数学的活動の充実と、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて 子どもの“問い”を軸に学習を進める教科書

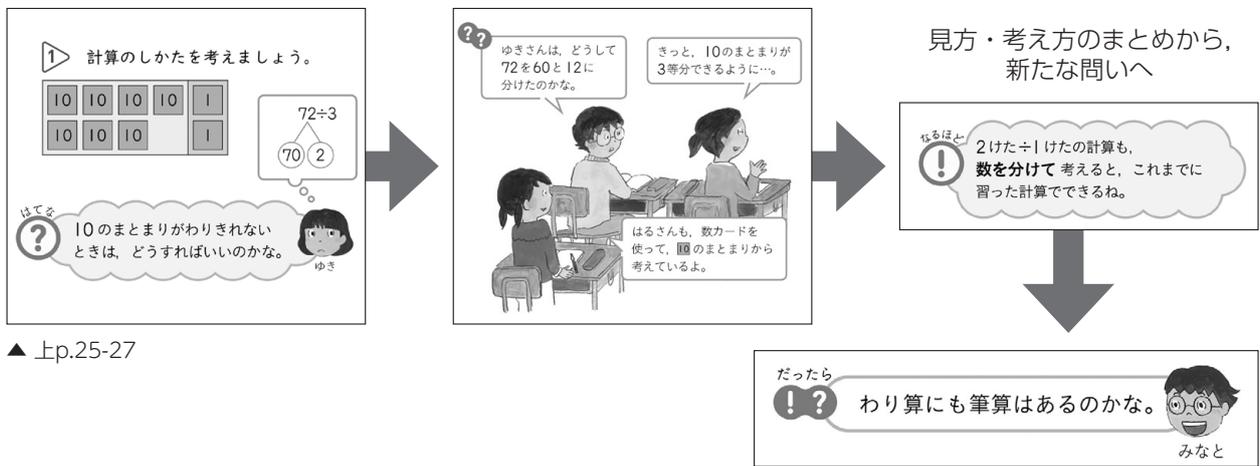
深い学びは，“問い”をもつことから始まります。“問い”をもち、学び合いを通して解決することで、学ぶ前よりも一歩成長することができます。そのような子ども一人一人の深まりを大切に、教科書を構成しています。

問いの連続でつくる数学的活動

子どもの^{はてな}“**?**”から学習めあてをつくり、主体的・対話的な学びを通して“**問い** ^{はてな}“**??**”を深め、^{はるほど}“**!**”を見だし、さらに、^{だったら}新たな“**問い** ^{はてな}“**!?**”へとつなげていきます。

学習めあてとなる子どもの問い

学びを深める問い



▲ Up.25-27

「単元のまとめ」で学ぶ意義を実感する

単元導入の「きっかけ」ページでは、身近な題材から問題を発見し、算数の問題としてモデル化し、目的意識をもって数学的活動に取り組めるようにしています。

単元末「学んだことを使おう」では、単元で学習したことを日常場面に活用することで、「何ができるようになったのか」を実感できるようにします。

単元導入

▲ Up.44

単元末

▲ Up.55

単元導入

▲ Up.73

単元末

▲ Up.91

2

思考力・判断力・表現力の育成のために 数学的な見方・考え方を働かせて学び合う教科書

数学的な見方・考え方を顕在化し、繰り返し用いてきていることを意識づけることにより、課題を解決したり探究したりする際の手段として、子どもが主体的に活用していけるようにします。

数学的な見方・考え方

「算数で使いたい考え方」として、類推、帰納、演繹といった数学的な考え方を子どもの言葉で示し、自分で考えたり、友だちと学び合ったりする際に使っていけるようにします。

また、「算数のミカタ」として、各領域を貫く数学的な見方にも着目できるようにし、以降の学習で繰り返し用いていきます。

算数のミカタ

図形の持ちようを調べるときは、次のようなことを見つめました。

- 辺の長さ
- 角の大きさ
- 辺のならび方

これまでの図形の見方に辺のならび方という見方が加わったね。

学びのマップ
168ページ 算数のミカタ

▲ Up.121

算数で使いたい考え方

3年生の算数を思い出してきましょう。

今までに使ってきた算数の見方・考え方を思い出してきましょう。

順序よく考える

1. 縦の長さ、横の長さ、角の大きさ、辺のならび方を調べます。

2. 縦の長さ、横の長さ、角の大きさ、辺のならび方を調べます。

3. 縦の長さ、横の長さ、角の大きさ、辺のならび方を調べます。

4. 縦の長さ、横の長さ、角の大きさ、辺のならび方を調べます。

5. 縦の長さ、横の長さ、角の大きさ、辺のならび方を調べます。

6. 縦の長さ、横の長さ、角の大きさ、辺のならび方を調べます。

7. 縦の長さ、横の長さ、角の大きさ、辺のならび方を調べます。

8. 縦の長さ、横の長さ、角の大きさ、辺のならび方を調べます。

9. 縦の長さ、横の長さ、角の大きさ、辺のならび方を調べます。

10. 縦の長さ、横の長さ、角の大きさ、辺のならび方を調べます。

▲ Up.6

読解力・表現力

全国学力・学習状況調査のB問題では、記述式問題に課題がみられます。そこで、あえて不十分な説明を提示し、修正・改善のしかたを考える活動を取り入れることで、条件をおさえながら筋道立てて説明する力を育てるようにしています。

教室の面積

はるさんは、教室の面積を求めようとしています。

つとよさんがあって、教室の面積がわからない。

そこで、面積を求めるのに役立つことを書き出してみました。

- ① 教室の形
- ② どのタイルの形
- ③ 教室のたてならぶタイルのまい数
- ④ 教室の横ならぶタイルのまい数
- ⑤ どのタイルの1辺の長さ

教室の形は正方形だから、教室のたてと横の長さがわかれば面積が求められる。

はるさんは、はじめに、教室のたての長さを求めました。

教室のたて $30 \times 30 = 900$ $900 \text{cm} = 9\text{m}$

同じようにして、教室の横の長さを求めよう。また、教室の面積は何㎡になるかを求めよう。

教室の横の長さは、①から⑤のどれを使うと求められるかな。

教室の面積は、正方形のタイル1まいの面積を求めます。

ゆきさんは、教室の面積の求め方を、次のように説明しています。

下の2人の意見を聞き入れて、ゆきさんの求め方を説明しながらみましょう。

はじめに、①からタイル1まいの面積を求めます。

タイル1まいの面積 $30 \times 30 = 900 \text{cm}^2$

教室にあるタイルのまい数は、全部で460まいだから、教室の面積は、 $900 \text{cm}^2 \times 460$ まい分です。

$900 \times 460 = 414000$

$414000 \text{cm}^2 = 41.4 \text{m}^2$

ゆきさんは、タイル1まいの面積と、タイルのまい数をかけると、教室の面積が求められるんだね。

あなとんが考えたことを簡単に説明する。わかりやすくするよ。

全部のタイルのまい数を求めるには、教室のたてと横の長さをかけるといいね。

▲ Tp.128-129

4コマ漫画

単元まとめでは、学んだことのよさや考え方を振り返る4コマ漫画を設け、単元や領域を貫く数学的な見方・考え方を意識づけ、学びをつなげていきます。

○ 学習を生かして、身のまわりの形を見直してみよう。

身のまわりから四角形をさがしてみよう。

あれ、長方形のまわりのかけが...

そろそろ帰ろう。

ひし形は... あった!

平行四辺形はないな...

あれ、長方形のまわりのかけが...

そろそろ帰ろう。

ひし形は... あった!

平行四辺形はないな...

▲ Up.130

○ 2つの量の関係どうしをくらべるとき、どんな見方をしたかな。

冬休みの旅行代、2人もおこづかいから少し出してね。

わたしは2500円出すよ。

えー!

妹は、月のおこづかいが500円、旅行代が2500円。

どういよは $2500 - 500 = 2000$

おつかけ、旅行代 妹 500 → 2500 +2000 姉 1000 → 3000

おこづかい +2000円

えー? すごい!

ぞういよときは、おつかけ、旅行代 妹 500 → 2500 5倍 → 2000 姉 1000 → 3000 5倍 → 5000

割合でしょ!

▲ Tp.67

3

生きて働く知識・技能の習得のために 学びと学びを系統的につなげる教科書

知識・技能は、一度で定着するものではありません。だから、確実な定着を図るために、既習事項を振り返りやすくしています。知識・技能を繰り返し用い、新しく学ぶことと既習事項を結びつけることで、理解が深まっていきます。

考えるヒント

単元まとめでは、各種学力調査でつまづきがみられる問題に対して「考えるヒント」を掲載して、丁寧に指導・支援にあたれるようにしています。

3 次のような四角形をかきましょう。

① (平行四辺形)

② (台形)

③

3-①: 考えるヒント 図形の持ちょうをふり返ろう

ゆきさんは、右のようにして平行四辺形をかいています。下の②から③の中から、ゆきさんが使っている平行四辺形の持ちょうを選びましょう。

- ② 向かい合った辺が平行。
- ① 向かい合った辺の長さが等しい。
- ③ 向かい合った角の大きさが等しい。

▲ Up.131

学びのマップ

既習事項を巻末「学びのマップ」にまとめ、関連する単元からリンクし、学年を超えて既習事項を振り返れるようにしています。

3年生までに学習してきた算数のミカタ

3年までに学習してきたこと

- ① 3年までの学習
- ② 算数の基礎(算術)
- ③ 算数の基礎(算術)
- ④ 算数の基礎(算術)
- ⑤ 算数の基礎(算術)
- ⑥ 算数の基礎(算術)
- ⑦ 算数の基礎(算術)
- ⑧ 算数の基礎(算術)
- ⑨ 算数の基礎(算術)
- ⑩ 算数の基礎(算術)
- ⑪ 算数の基礎(算術)
- ⑫ 算数の基礎(算術)
- ⑬ 算数の基礎(算術)
- ⑭ 算数の基礎(算術)
- ⑮ 算数の基礎(算術)
- ⑯ 算数の基礎(算術)
- ⑰ 算数の基礎(算術)
- ⑱ 算数の基礎(算術)
- ⑲ 算数の基礎(算術)
- ⑳ 算数の基礎(算術)
- ㉑ 算数の基礎(算術)
- ㉒ 算数の基礎(算術)
- ㉓ 算数の基礎(算術)
- ㉔ 算数の基礎(算術)
- ㉕ 算数の基礎(算術)
- ㉖ 算数の基礎(算術)
- ㉗ 算数の基礎(算術)
- ㉘ 算数の基礎(算術)
- ㉙ 算数の基礎(算術)
- ㉚ 算数の基礎(算術)
- ㉛ 算数の基礎(算術)
- ㉜ 算数の基礎(算術)
- ㉝ 算数の基礎(算術)
- ㉞ 算数の基礎(算術)
- ㉟ 算数の基礎(算術)
- ㊱ 算数の基礎(算術)
- ㊲ 算数の基礎(算術)
- ㊳ 算数の基礎(算術)
- ㊴ 算数の基礎(算術)
- ㊵ 算数の基礎(算術)
- ㊶ 算数の基礎(算術)
- ㊷ 算数の基礎(算術)
- ㊸ 算数の基礎(算術)
- ㊹ 算数の基礎(算術)
- ㊺ 算数の基礎(算術)
- ㊻ 算数の基礎(算術)
- ㊼ 算数の基礎(算術)
- ㊽ 算数の基礎(算術)
- ㊾ 算数の基礎(算術)
- ㊿ 算数の基礎(算術)

▶ Up.168-175
Tp.160-167

4

学びに向かう力、人間性等の涵養のために 学び方を身につけ、算数を学ぶよさを実感する教科書

学び方を学ぶ

巻頭「算数をはじめよう！」で示した学習の進め方を、授業開き教材「ペントミノ」で実践してみます。主体的・対話的で深い学びの過程を共有することで、質の高い学び合いができる学級づくりに生かしていけます。

算数をはじめよう!

ペントミノ

この教材を使うなら、算数の楽しさを味わおう。

1 同じ大きさの正多角形をいくつかつなげて、形を作ってみよう。

2 同じ大きさの正多角形をいくつかつなげて、いろいろなペントミノを作ってみよう。

3 同じ大きさの正多角形をいくつかつなげて、いろいろなペントミノを作ってみよう。

▲ Up.2-9

何ができるようになるか

教科書全体で、活動の目的意識を大切にしています。単元導入の「きっかけ」ページ、単元末「学んだことを使おう」、学年末「算数を使って考えよう」などの数学的活動を通して、「何ができるようになるか」を実感しながら算数の学習に取り組めるようにします。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
1 大きな数	オリンピックの開会式の題材を通して、我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うようにしました。(第5号)	上p.10～11
2 わり算の筆算	多様な解決方法を出し合い、高め合う活動を通して、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うようにしました。(第2号)	上p.25～27
3 折れ線グラフ	自ら問いをもち、追究し、さらなる問いへとつなげていく姿をフキダシで示し、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うようにしました。(第1号)	上p.45～49
4 角	身のまわりの角度を主体的に調べる活動を通して、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うようにしました。(第2号)	上p.70
5 2けたの数のわり算	わり算について見いだしたきまりがいつでも成り立つかを追究する活動を通して、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うようにしました。(第1号)	上p.85～86
6 がい数	使用済みの切手の枚数を調べる題材を通して、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画する態度を養うようにしました。(第3号)	上p.102～103
7 垂直、平行と四角形	豊富なコラム等により、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うようにしました。(第1号)	上p.112～117
8 式と計算	これまでに学習したかけ算のきまりとわり算のきまりの共通点と相違点を整理し、統合的に捉える活動を通して、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うようにしました。(第1号)	上p.140
9 面積	友だちのノートの書き方のいいところを見つける活動を通して、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うようにしました。(第3号)	下p.18～19
10 整理のしかた	保健委員としてけが防止を呼び掛ける題材を通して、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うようにしました。(第2号)	下p.22
11 小数のしくみとたし算、ひき算	オリンピックの男子400mリレーの記録の題材を通して、我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うようにしました。(第5号)	下p.51
12 変わり方	問題解決に用いた見方が、ほかの学習場面でも用いられることに気づかせ、これからも使っていくように動機づけることで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うようにしました。(第1号)	下p.55
13 くらべ方	野菜の値上がりのしかたを考える題材を通して、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うようにしました。(第2号)	下p.60～61
14 そろばん	そろばんを用いて数を表したり計算したりする活動を通して、伝統や文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養うようにしました。(第5号)	下p.68～70
15 小数と整数のかけ算、わり算	身のまわりの場面からかけ算やわり算の問題をつくる活動を通して、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うようにしました。(第2号)	下p.91
16 立体	友だちと一緒に学びながら学習課題を見いだす活動を通して、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うようにしました。(第3号)	下p.94
17 分数の大きさとなし算、ひき算	前学年までの学習をもとに、自ら問題を発展させる姿を通して、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うようにしました。(第1号)	下p.118
□ 算数を使って考えよう	3Rの活動に関心をもって調べる場面を題材とすることで、環境の保全に寄与する態度を養うようにしました。(第4号)	下p.126～127
巻頭・巻末	ミウラ折り、宇田太陽発電電といった日本の技術・研究を紹介する話題を通して、伝統や文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養うようにしました。(第5号)	上・表3 下・表3

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

○カラーユニバーサルデザイン（CUD）や特別支援教育への対応

色覚等の特性をふまえた、判読しやすい配色やレイアウト、表現方法、文字（ユニバーサルデザインフォント）などの工夫により、すべての児童にとって学びやすい紙面づくりに配慮しています。

○「パラリンアート」の取り組み

さまざまな人々との共生について理解を深める観点から、障がいのある人が描いた作品（障がい者アート）を教科書に掲載することにより支援する、「パラリンアート」の活動にも取り組んでいます。

○地球となかよし

教科書の印刷には、環境にやさしい再生紙と植物油インキを使用し、地球環境への負荷軽減に配慮しています。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-67	小学校	算数科	算数	第4学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	算数 406 算数 407	小学算数 4上 小学算数 4下		

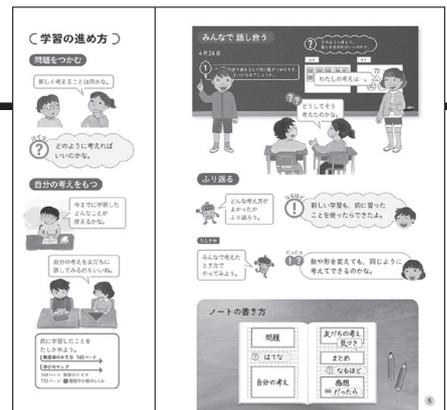
1. 編修上特に意を用いた点や特色

1

数学的活動の充実と、主体的・対話的で深い学びの実現

数学的活動

- 問題発見・解決の過程を「はてな?」「なるほど!」「だったら!」のフキダシで示し、子どもの“問い”の連続によって学習を進めるスタイルを、授業展開の基本に据えました。第4学年では特に、解決過程を振り返って発展的に考える活動を重視しています。
- 巻頭「算数をはじめよう!」では、このような算数の学習の進め方を学級で共有できるようにしています。(Up.2~5)

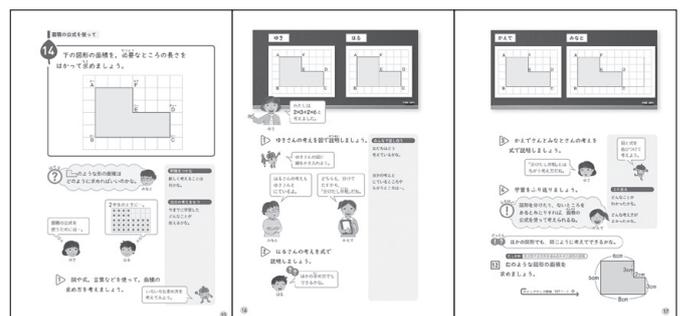


▲ Up.4-5

- 単元導入の「きっかけ」ページでは、身近な題材から問題を発見し、算数の問題としてモデル化し、目的意識をもって数学的活動に取り組めるようにしています。また、単元末「学んだことを使おう」では、単元で学習したことを日常場面に活用することで、「何ができるようになったのか」を実感できるようにしています。(Up.44, Up.55, Up.22, Up.30~31等)

主体的・対話的で深い学び

- 主体的・対話的で深い学びのモデルとなる授業展開を掲載しています(学年2回)。子どもの“^{はてな}?”から学習めあてをつくり、学び合いを通して“^{はてな}”を深め、解決に用いた見方・考え方を振り返って“^{なるほど}”にまとめ、さらに、新たな“^{はてな}”へとつなげていきます。(Up.25~27, Up.15~17)



▲ Up.15-17

2

思考力・判断力・表現力の育成

数学的な見方・考え方

- 「算数で使いたい考え方」として、類推、帰納、演繹といった**数学的な考え方を子どもの言葉で示し**、学び合いに使っていけるようにしています。(Up.6)
- 「算数のミカタ」として、**各領域を貫く数学的な見方**にも着目できるようにし、以降の学習で繰り返し用いていきます。(Up.121, Up.168, Tp.55, Tp.160等)
- 答えを求めて終わりではなく、**新たな問題発見につなげる学び**（から）によって、**統合的・発展的に考察する力を**養います。(Up.91, Tp.75等)
- 単元まとめでは、**学んだことのよさや考え方を振り返る4コマ漫画**を設け、単元や領域を貫く**数学的な見方・考え方を意識づけ**、学びをつなげていきます。(Up.130, Tp.67等)

言語活動と学び合い

- 友だちの発表に対して質問したり付け足したりするフキダシを示し、**学びを深める話し合い**ができるようにしています。(Up.86, Tp.62等)

ノート指導

- 友だちのノートの書き方のいいところを見つける活動を設け、**学び合いを通してノート指導**ができるようにしています。(Up.40～41, Tp.18～19)

統計的な見方・考え方

- 統計的な問題解決に関わる活動では、データの収集や分類整理、考察などの過程において、活動の目的意識を大切にしています。また、統計的探究プロセスにも触れ、そのよさを感じて、他教科や実生活に活用していけるようにします。(Tp.22～31等)

▶ Tp.30-31

B問題への対応

- 全国学力・学習状況調査のB問題を踏まえ、**単元末と学年末の2段階で活用問題**を設けています。学年末「算数を使って考えよう」では、複数の学習内容にまたがる総合的な活用問題を設定し、問題把握、見通し、実践、評価・改善といった一連の問題解決を通して、筋道を立てて考え表現する力を育成します。(Tp.126～129)
- B問題で課題がみられる**記述式問題**について、不十分な説明を提示してそれを修正・改善する活動を取り入れることで、条件をおさえながら筋道立てて説明する力を育てるようにしています。(Tp.129)

▶ Tp.126-127

データを集めて、表やグラフで伝えよう!

- ① **テーマを見つけよう**
「どんなスポーツが、どの学年のみんなに人気があるのかを調べる。」
- ② **計画を立てよう**
「どんなデータを、どのように集めればいいのかを考える。」
- ③ **データをまとめて整理しよう**
「データをまとめて、目的にあったように整理し、見やすく整理しよう。」
- ④ **分せしよう**
「目的に合わせて表やグラフに表したり、データの傾向をよくよみてみよう。」

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	合計
男子	28	31	22	21	44	146
女子	16	39	28	13	8	104
計	44	70	50	34	52	250

算数を使って考えよう

- ① **3R(スリーアール)**
「かえりさんは、社会科で3R(スリーアール)という言葉を学習して、もっと調べてみたいになりました。」
- ② **4年生全員に聞きました。**
「リサイクルしていますか?」
- ③ **リサイクルしている人と答えた人に聞きました。**
「何をリサイクルしていますか?」

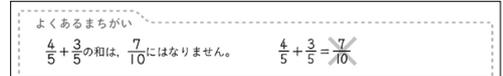
	紙	プラスチック	ガラス	その他
リサイクルしている人	28	17	7	8
リサイクルしていない人	7	8		

3

生きて働く知識・技能の習得

つまずきやすい問題の意識化

- 単元まとめでは、各種学力調査でつまずきがみられる問題に対して「考えるヒント」を掲載し、丁寧に指導・支援にあたるようにしています。(Up.105, Up.131等)
- 脚注コラム「よくあるまちがい」では、誤答例を示すことにより、正しい理解が得られるようにしています。(Tp.78, Tp.118等)



▲ Tp.118

基礎的・基本的な知識・技能

- 巻末の練習問題「ステップアップ算数」は「きほんの問題」と「ジャンプ問題」で構成し、個に応じて、主体的に家庭学習に取り組めるようにしています。(Up.145～155, Tp.136～145)

知識・技能をつなげる工夫

- 既習事項を巻末「学びのマップ」にまとめ、関連する単元からリンクし、学年を超えて既習事項を振り返れるようにしています。(Up.168～175, Tp.160～167)

4

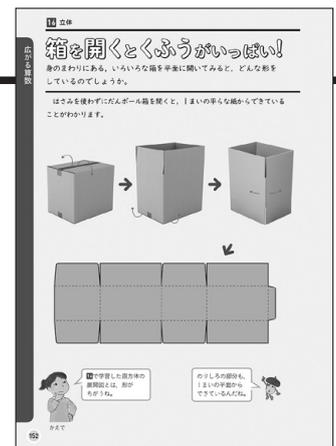
学びに向かう力，人間性等の涵養

学び方を学ぶ

- 巻頭「算数をはじめよう！」で示した学習の進め方を、授業開き教材「ペントミノ」で実践してみます。主体的・対話的で深い学びの過程を共有することで、質の高い学び合いができる学級づくりに生かしていけます。(Up.7～9)

もっと学びたい意欲に応える

- 知的好奇心に応える特設教材やコラムを随所に設けています。(Up.58, Tp.34等)
- 巻末「広がる算数」では、子どもの興味・関心を刺激し、自ら学習を広げる探究的な話題を掲載しています。(Up.156～160, Tp.146～153)



▶ Tp.152

何ができるようになるか

- 教科書全体で、活動の目的意識を大切にしています。単元導入の「きっかけ」ページ、単元末「学んだことを使おう」、学年末「算数を使って考えよう」などの数学的活動を通して、「何ができるようになるか」を実感しながら算数の学習に取り組めるようにします。

5

その他の配慮事項

学年間の円滑な接続

- ・復習ページでは、次単元で使う知識・技能を確認する問題を設けています。(上p.23, 下p.72等)
- ・単元の導入などでは、既習事項をスパイラルに扱ったり、関連する内容にリンクしたりして、系統的に学習を進められるようにしています。(上p.24, 下p.73等)

他教科等との関連

- ・他教科や学校の活動と関連した場面を題材として用いるように配慮し、必要感をもって学習に取り組めるようにしています。(上p.44, 下p.22等)
- ・友だちと学び合い、互いのよさを認め合うなど、道徳科との関連を図っています。(上p.40～41等)

個に応じた指導、家庭学習

- ・家庭学習のページ「ステップアップ算数」は、2段階のレベルで問題を構成し、理解の程度に応じて取り組めるようにしています。(上p.145～155, 下p.136～145)
- ・単元まとめでは、「ふり返ろう(知識)」と「たしかめよう(技能)」に分けて、学習内容を簡潔にまとめているので、家庭学習等でも振り返りやすくなっています。また、「考えるヒント」は、つまずきがちな子どもへの丁寧な指導・支援として効果的です。(上p.88～89, 下p.50～51等)
- ・脚注コラム「センスアップ」では、学習進度が速い学級や児童が取り組める問題を設けています。(上p.114, 上p.136等)

特別支援・ユニバーサルデザイン

- ・カラーユニバーサルデザインやユニバーサルデザインフォントの採用により、すべての児童にとって学びやすい紙面づくりに配慮しています。

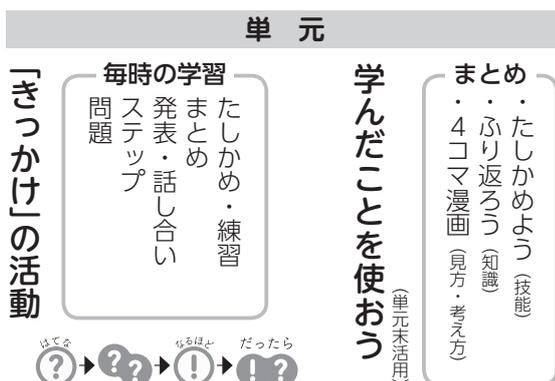
コンピュータなどの活用

- ・ を付けたところでは、デジタルコンテンツを活用して効果的に学習ができるようにしています。(上p.49「折れ線グラフツール」, 下p.102～103「立体の展開図」等)

教科書の構成

算数をはじめよう！

- ・ペントミノ(授業開き教材)
- ・算数で使いたい考え方
- ・学習の進め方



ふくしゅう

算数ワールド(特設教材)

算数を使って考えよう(学年末活用)

学年のまとめ

自分で取り組むページ

- ・教科書に出てきた言葉
- ・学びのマップ(既習内容のまとめ)
- ・学びの手引き(図のかき方等)
- ・広がる算数(探究的な話題)
- ・ステップアップ算数(家庭学習)

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
1 大きな数	A (1) ア (ア) A (1) イ (ア) A (3)	上 p.10 ~ 17, p.20 ~ 22 上 p.10 ~ 17, p.20 ~ 22 上 p.18 ~ 19, p.22	8
2 わり算の筆算	A (3) ア (ア) A (3) ア (イ) A (3) ア (ウ) A (3) イ (ア)	上 p.24 ~ 43 上 p.24 ~ 43 上 p.29 上 p.24 ~ 43	11
3 折れ線グラフ	D (1) ア (イ) D (1) イ (ア)	上 p.44 ~ 57 上 p.44 ~ 57	9
4 角	B (5) ア (ア) B (5) ア (イ) B (5) イ (ア)	上 p.59 ~ 64 上 p.59 ~ 72 上 p.59 ~ 72	8
5 2けたの数のわり算	A (3) ア (ア) A (3) ア (イ) A (3) ア (ウ) A (3) ア (エ) A (3) イ (ア)	上 p.74 ~ 89 上 p.74 ~ 89 上 p.76 上 p.85 ~ 89 上 p.74 ~ 89	12
6 がい数	A (2) ア (ア) A (2) ア (イ) A (2) ア (ウ) A (2) イ (ア)	上 p.90 ~ 105 上 p.92 ~ 96, p.102 ~ 105 上 p.97 ~ 105 上 p.90 ~ 105	9
7 垂直, 平行と四角形	B (1) ア (ア) B (1) ア (イ) B (1) イ (ア)	上 p.108 ~ 117, p.130 ~ 131 上 p.118 ~ 131 上 p.108 ~ 131	14
8 式と計算	A (6) ア (ア) A (6) ア (イ) A (6) ア (ウ) A (6) イ (ア) A (7) ア (ア) A (7) イ (ア)	上 p.132 ~ 137, p.142 ~ 143 上 p.132 ~ 134 上 p.138 ~ 139, p.142 上 p.132 ~ 137, p.142 ~ 143 上 p.138 ~ 143 上 p.138 ~ 143	8
9 面積	A (6) ア (イ) B (4) ア (ア) B (4) ア (イ) B (4) イ (ア)	下 p.6 ~ 7 下 p.2 ~ 14, p.20 ~ 21 下 p.6 ~ 21 下 p.2 ~ 21	12
10 整理のしかた	D (1) ア (ア) D (1) イ (ア)	下 p.22 ~ 33 下 p.22 ~ 33	6
11 小数のしくみとたし算, ひき算	A (4) ア (イ) A (4) ア (ウ) A (4) イ (ア)	下 p.36 ~ 43, p.50 ~ 51 下 p.44 ~ 51 下 p.36 ~ 51	13
12 変わり方	A (6) ア (イ) A (6) ア (ウ) C (1) ア (ア) C (1) イ (ア)	下 p.54 ~ 59 下 p.54 ~ 59 下 p.52 ~ 59 下 p.52 ~ 59	5
13 くらべ方	C (2) ア (ア) C (2) イ (ア)	下 p.60 ~ 67 下 p.60 ~ 67	4
14 そろばん	A (8) ア (ア) A (8) イ (ア)	下 p.68 ~ 70 下 p.68 ~ 70	2
15 小数と整数のかけ算, わり算	A (4) ア (ア) A (4) ア (エ) A (4) イ (ア)	下 p.87 ~ 89, p.93 下 p.73 ~ 93 下 p.73 ~ 93	15
16 立体	B (2) ア (ア) B (2) ア (イ) B (2) ア (ウ) B (2) イ (ア) B (3) ア (ア) B (3) イ (ア)	下 p.94 ~ 98, p.108 ~ 109 下 p.99 ~ 101, p.108 ~ 109 下 p.102 ~ 104, p.107 ~ 109 下 p.94 ~ 104, p.107 ~ 109 下 p.105 ~ 106 下 p.105 ~ 106	9
17 分数の大きさとなし算, ひき算	A (5) ア (ア) A (5) ア (イ) A (5) イ (ア)	下 p.116 ~ 117, p.123 ~ 124 下 p.110 ~ 124 下 p.110 ~ 124	10
		計	155

編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-67	小学校	算数科	算数	第4学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	算数 406 算数 407	小学算数 4上 小学算数 4下		

ページ	記 述	類型	関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項	ページ数
上 19	算数メモ	2	内容の取扱い (3) 内容の「A数と計算」の (3) については、第1学年から第4学年までに示す整数の計算の能力を定着させ、それを用いる能力を伸ばすことに配慮するものとする。 上記に関連して、簡単な整数の四則計算の式について、その英語での読み方について知る。	0.25
上 69	算数メモ	1	B (5) ア (イ) 角の大きさの単位 (度 (°)) について知り、角の大きさを測定すること。 上記に関連して、360度よりも大きい角度を表す場合があることを知り、角の大きさについての理解を深める。	0.25
上 156 ~ 157	いろいろな数の表し方を くらべよう!	2	A (1) ア (ア) 億、兆の単位について知り、十進位取り記数法についての理解を深めること。 上記に関連して、古代エジプトの記数法を読み取ったり、それを用いて数を表したりすることを通して、十進位取り記数法についての理解を深める。また、千兆の位より上の位の名前について知る。	2
下 90	割合が1より小さいとき	1	C (2) ア (ア) 簡単な場合について、ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係とを比べる場合に割合を用いる場合があることを知る。 上記に関連して、割合を表す数が小数になる場合があることを知り、割合についての理解を深める。	0.75
下 122	時間を分数で表そう!	1	A (5) ア (ア) 簡単な場合について、大きさの等しい分数があることを知る。 上記に関連して、30分を1/2時間や6/12時間、30/60時間のように表すことを通して、大きさの等しい分数についての理解を深める。	0.75
下 150 ~ 151	もっと小さな小数	2	A (4) ア (イ) 小数が整数と同じ仕組みで表されていることを知るとともに、数の相対的な大きさについての理解を深めること。 上記に関連して、小数の位ごとの名前について知る。	0.75
合 計				4.75

(「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
- 2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容